

はなみずき

「はなみずき」の花言葉には「私の想いを受けとめてください」という意味があります。
また、小林市にあられる「花・水・木」など、いろいろな思いが込められています。



令和6年度三松小学校運動会の様子

- | | |
|----------------------|--------|
| ■ 6月定例会委員会審査報告 | ・・・P2～ |
| ■ 表決結果一覧 / 陳情 | ・・・P4 |
| ■ 討論 / 議会改革特別委員会のうごき | ・・・P5 |
| ■ 一般質問 | ・・・P6～ |
| ■ これ、知っちゃった？ | ・・・P12 |
| ■ 議場見学・議会傍聴 | ・・・P13 |
| ■ 令和5年度政務活動費実績報告 | ・・・P14 |
| ■ 語り継ぐ小林の歴史 | ・・・P15 |
| ■ 堀研二郎議員のイチオシ！！ | ・・・裏表紙 |



令和6年8月1日発行

◆国民健康保険税の引上げ

国民健康保険税の課税限度額及び軽減判定所得の見直しと、保険税の所得割額、均等割額及び平等割額の引上げを行う。

- Q 今後の税率改定の見通しは。
A 令和7年度は据え置く方針。

◆委員からの意見◆

加入者の所得が減少する中で、税率の引上げは加入者への負担も大きくなる。納付に関する相談等があった際には、丁寧な説明と対応に取り組まれない。

市民厚生 分科会・委員会



◆訪問看護ステーションを設置



地域包括ケアシステム（※）の構築に寄与するため、今年度中に小林市立病院に24時間対応可能な訪問看護ステーションを設置する。

- Q 利用者数の見込みは。
A 1月当たりの利用者数を今年度は4名程度を見込んでいる。令和9年度までに30名程度の利用者を受け入れることで、事業の黒字化を目指していきたいと考えている。

※地域包括ケアシステムとは…
要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように地域内で助け合う体制のこと。

◆委員からの意見◆

利用者のニーズに応えとともに、事業の黒字化に努められたい。

◆後期高齢者医療広域連合規約の変更

マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴い、宮崎県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更することに関し、関係自治体と協議する。



- Q 「資格確認書等」について。
A 「資格確認書」はマイナ保険証を取得していない人に発行され、提示することで医療機関を受診できるようになる。
「資格情報のお知らせ」はマイナ保険証を取得している人に発行され、被保険者の基本情報が掲載されている。

◆委員からの意見◆

制度開始に伴い、医療機関や被保険者の不安に対応するため、制度の周知徹底や相談体制を整備されたい。



総務文教 分科会・委員会

◆災害支援事業費

令和6年能登半島地震で被害を受けた姉妹都市の石川県能登町を支援するため、本市が代理で受け付けた寄附金を災害支援金として支出。

- Q 今後の対応は。
A 本事業は今年度までの支援。能登町の寄附受付体制の状況を見極めながら終了時期を検討したい。



◆県指定研究校配分経費



三松小学校が小学校体育専科教員加配措置校実践研究の指定を受けたこと、紙屋小学校及び紙屋中学校が循環型社会を実現する環境教育推進事業の指定校に指定されたことに伴う経費を補正。

- Q 紙屋小学校と紙屋中学校の連携について。
A 小中一貫教育を行っているので、研究会での進捗状況の確認や情報交換などを行い、効果的に研究を進めていく。



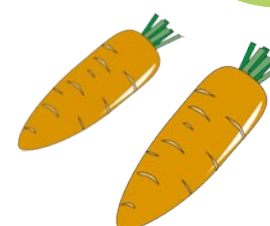
経済産業 分科会・委員会

◆産地パワーアップ事業費補助

農作業の省力化や効率化など、生産基盤の強化に向けた取組に要する経費の2分の1を補助するもので、今回はニンジン生産者4経営体に対して補助を行う。

◆委員からの意見◆

規模を拡大し農地の維持につながる事業。経営的な計画・指導も含めて取り組まれない。



議案第52号 一般会計補正予算

反対
討論

大迫 みどり 議員
システム改修費に反対。マイナンバー制度導入に伴い、戸籍に記載する予定の氏名の振り仮名を通知することに係る予算。1年以内に届けがないと自治体の職権で振り仮名が転載される。望まない名前になるおそれがある。

賛成
討論

原 勝信 議員
人口減少による少子高齢化が進む中、医療費の抑制を図りながら市長が掲げる健幸のまちづくりを市民総力戦で推進することで、国民健康保険事業の健全かつ安定的な運営が引き続き行われることを強く望み賛成する。

徹底
討論

反対
討論

橋本 律子 議員
資格確認書は、国がマイナ保険証を事実上強制するため、現行の紙の保険証を廃止する目的で発行するもの。マイナ保険証の利用率は7.73%に過ぎない。健康保険証は国民皆保険制度の根幹。保険証存続を求め反対。

賛成
討論

小川 真 議員
市民の88.28%が持っているマイナンバーカードを健康保険証として利用する『マイナ保険証』。医療情報の共有に同意することで検診や薬の履歴が閲覧でき、効率化と医療費の削減に繋がるため、改正に賛成。

議案第58号 宮崎県後期高齢者医療広域連合規約の変更

◎このほか、以下の議案について反対の討論がありました。
議案第53号 国民健康保険事業特別会計補正予算（能勢議員、橋本議員）
議案第56号 国民健康保険税条例の一部改正（能勢議員、大迫議員）

6月定例会の録画配信ページはこちら▶



令和6年第3回臨時会 表決結果一覧

（令和6年5月7日）



◆全会一致の議案◆ ※表決の分かれた議案はありませんでした。

◎議案の内容はこちら▶

議案番号	議案名	表決結果
報告案件 報告1	専決処分の承認を求めることについて 小林市税条例について、地方税法等の一部が改正されたことに伴い、市税の課税事務についても、これと同様の措置を直ちに講ずる必要があったため、所要の改正を行ったもの	承認
R6 補正予算 議案48	一般会計補正予算（第2号）	原案可決
人事案件 議案49	固定資産評価員の選任 ・新田 浩四郎（しんでん こうしろう）氏	同意
議案50	教育委員会の教育長の任命 ・大山 和彦（おおやま かずひこ）氏	同意
議案51	教育委員会の委員の任命 ・永井 良雄（ながい よしお）氏	同意

令和6年第4回定例会 表決結果一覧

（令和6年6月10日～7月1日）

◎議案の内容はこちら▶



◆表決の分かれた議案◆

議案番号	議案名	堀研二郎	小川真	能勢誠	野田利典	松嶺勇一	橋本律子	永野雅己	金松勲	有木将吾	押領司剛	前田隆博	貴嶋憲太郎	竹内龍一郎	舞田重治	吉藤洋子	原勝信	鎌田豊数	大迫みどり	高野良文	表決結果
R6 補正予算 議案52	一般会計補正予算（第3号）	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案53	国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案54	後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
条例関係 議案56	国民健康保険税条例の一部改正 国民健康保険税の課税限度額及び軽減判定所得の見直しを行うとともに、税率を改定するもの	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他 議案58	宮崎県後期高齢者医療広域連合規約の変更 宮崎県後期高齢者医療広域連合規約を変更することに関し協議をすることについて、議会の議決を求めるもの	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
陳情 陳情1	小林市議会議員定数等の見直しを求める陳情 ※継続審査を申し出た委員長報告に対する表決	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 除：法律により採決に加われない者 -：議長は表決には加わらないため

◆全会一致の議案◆

議案番号	議案名	表決結果
R6 補正予算 議案55	病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決
条例関係 議案57	病院事業の設置等に関する条例の一部改正 小林市立病院に訪問看護ステーションを設置するための改正	原案可決
人事案件 諮問1	人権擁護委員の候補者の推薦 ・冨永 新光（とみなが しんこう）氏	同意

【審査の結果】
陳情者の小林市区長会に参考人として出席を求め、審査しました。
陳情を付託された議会改革特別委員会では、これまでも議員定数や報酬等について議論を重ねてきたところですが、陳情第1号については、今後も慎重審査を要するとの意見があり、採決の結果、引き続き閉会中の継続審査とすることを議長へ申し出ました。



小林市区長会から議長に陳情書が手渡される様子

■陳情第1号
小林市議会議員定数等の見直しを求める陳情
【主な陳情の内容】
・議員定数の削減（19人↓16人）
・なり手の確保につなげる観点からの議員報酬の検討

議会改革
特別委員会
のうごき



◆令和6年5月13日 議会改革特別委員会主催全議員研修会

演題：第1部 地方議員のなり手不足対策について
第2部 議会改革の推進について

寺島 渉 氏（全国町村議会議長会「議員のなり手不足対策検討会」委員・元長野県飯綱町議会議長）を講師に招き、上記内容の講演を受講しました。

講演では、なり手不足によって、議会の大きな存在意義である「住民の多様性を反映した合議体」の存続が危ぶまれることや、全国的な傾向として、議員定数削減そのものが立候補の阻害要因にもなっていること、また議会に対する住民の関心を高めることが重要であるなどの話がありました。

◆令和6年5月21日～23日 議会改革特別委員会行政視察

「女性や若者の議員へのなり手対策」を主なテーマとして、女性の活躍推進の取組や主権者教育の先進地を視察しました。

市をあげて、職場・地域・学校・家庭でのジェンダーギャップ解消推進

市役所の男性職員育休取得率100%

兵庫県豊岡市



高校生議会で高校生が一般質問

議員もサポートし、若者の多くの提案・要望が実現

兵庫県多可町

女性役員のいる自治会60%

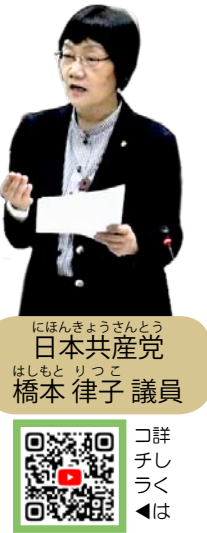
女性議員の割合43.8%

兵庫県小野市

【視察報告書より（抜粋）】

- ・企業経営者などのトップの意識改革や女性リーダー育成の気運づくりが重要。
- ・若者が自分の住むまちのことを考え、提案したことが実現するという経験により、議員になろうと思う若者も出てくるのではないかと。

危険な通学路の補修を



にほんきょうさんとう
日本共産党
はしもと りつこ
橋本 律子 議員



子どもの最善の利益

問 危険な通学路は最優先で補修すべきでは。

答 すぐに修繕等できるものはすぐ対応し、多額の予算が必要なところは市単独整備事業等に対応している。

問 学校の特別教室（音楽室など）にもエアコンが必要ではないか。

答 普通教室を優先して整備しているが、要望もあるため今後、熱中症対策も踏まえて検討したい。

問 学校で使う学用品の負担軽減はできないか。

答 個人での使用頻度が高い教材は、衛生管理の面から各家庭で準備していただくことが適当と考えている。工夫によって負担軽減できるものはないか、取り組みたい。

意 ぜひ小林市で購入助成制度を創設していただきたい。



自転車事故、複数発生の現場

補聴器購入の費用が高い

問 補聴器購入費用の医療費控除には、耳鼻科受診が必要などを周知してほしい。

答 地域包括支援センターと連携し、医療機関の受診等について周知している。今後も随時必要な情報発信に努めていきたい。

問 補聴器購入助成制度を新設する考えは。

答 目的、効果、国県の動向、他のサービスとのバランスなど、総合的に判断して検討したい。

地域コミュニティ向上



そうせい
創生こばやし
はら かつぶ
原 勝信 議員



行政区の在り方

問 市内の自治会加入率は世帯数で65%。今後、区の統合や再編をどう考えるか。また区長や役員のなり手不足解消や処遇改善は。

答 区長会で区のあり方検討部会を立ち上げ、地域の課題等の現状把握に努めている。意向調査では、8割以上の区長が将来的に統合等の必要性を感じている。また処遇改善として、今年度から、区に支払う委託料の算定基礎を改定した。

地域活動の持続可能性向上

問 処理困難ごみ（建築廃材など）は最終処分場で受入不可である。高齢者への緩和の考えは。

答 基本的に専門業者で有料処理することになっており、これまで例外はない。

問 消防協力費や防犯灯の費用については区費から支出している。区未加入者含む市民全員が恩恵を受ける部分は、一部の区民だけに負担をかけるものではないと考えるが。

答 消防協力会の意義について、未加入者にも理解と協力をいただく必要があると思われる。防犯灯の維持管理に係る経費負担の必要性について、もご理解いただきたい。



子どもや高齢者が楽しめる活動を

一般質問

市民の声を市政へお届け



問：質問
答：答弁
意：意見

議員が日ごろの議員活動を通して疑問に感じていることや改めたいこと、実現すべきことについて質問・提案し、市長・部長等が答弁します。6月定例会では12人の議員が質問しました。

※一般質問者の各QRコードから、録画配信をYouTube（ユーチューブ）でご覧いただくことができます。

温暖化対策から考えて

燃やさず資源として活用を

問 プラごみが地球環境に与える影響は深刻。減らす対策を。

答 分別を含めた啓発を毎月行っている。

問 ごみを減らすためには、リサイクルの品目を増やす取り組みを広げていくことが大事。牛乳パックは品質がいい。燃やさず市で回収する仕組みを。

答 市民の理解と協力が得られれば可能。

小規模家族農業に支援を

問 新しい農基法は、食料自給率向上の目的を外し、輸入の確保を入れた。これに対する市長の見解は。

答 食料の自給率は、自分の国で確保することが基本。

問 家族農業の特性を再評価し支援することが、環境に優しく持続可能な農業経営体を増やす道と思うが。

答 基本は家族経営だと思っている。

問 地域コミュニティや農地を守っていくためにも、家族的な農業や農薬を使わない、減らすなど自然環境に配慮した農業が求められている。国が目を向けない小規模農家に支援策を。

答 基幹産業の農業が崩れると地域が破たんしてしまうことになる。食料自給率の基本となるところであり、しっかりと対応していきたい。



理解と協力広げ、リサイクル推進

教育で主権者意識高揚

主権者教育の考えは

問 教育長は主権者教育の推進について、市当局や議会、地域住民と連携してどのように進めていくのか、また具体的な計画があれば。

答 主権者教育は、政治の知識だけでなく、社会問題を自分事として捉え、主体的に行動する力を育てることが重要であると考える。本市では、こすもす科を中心に学習を進めており、引き続き活動を継続したい。また、学校内の学びにとどまらず、関係課や家庭、地域、企業等との多様な連携が必要である。夏季休業中には市民団体が実施する子ども議会をはじめとして、子ども課等との連携した取組も行っていきたい。

市道整備計画の情報提供

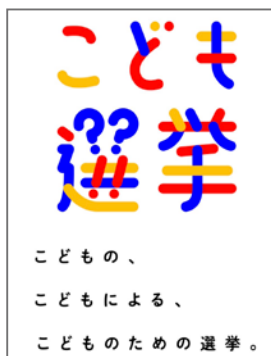
問 市民生活や交通の安全を確保するため、市道の整備を行う市単独整備事業は重要。中長期計画における市民への情報提供の方法や地域住民の意見反映について伺う。

答 現在整備中の路線は、要望書や陳情書が提出されたもの。見直し計画の情報は、予算が確定した路線の関係者へのみ提供している。予算が未確定の路線もあるため、情報提供には慎重を期す必要がある、これまで通りの取扱いとしたいと考えている。

こすもす科とは、小林市の小・中学校で行っている自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を育成するための学習のこと。



しんがい
新生会
の せ まこと
能勢 誠 議員



主権者意識を育む「こども選挙」



りつじんかすらぎ
立憲民主党
たけうち りつしゅん
竹内 龍一郎 議員



コ
詳
チ
ラ
ク
は

カスハラ対策を早急に

問 カスタマーハラスメントと言われる理不尽なクレーム、根拠のない要求、暴力、侮辱的な要求などの現状と対策は。

答 市役所では暴力行為等への対応として、不当要求行為等防止対策委員会を設置し、場合によっては警察への通報も想定している。過去5年間で通報に至ったケースはないが、職員の安全を守るために対応したケースはあった。また、市立病院ではモンスター・ペイシエント等対策マニュアルを策定し、医療機関で特に多いと言われているセクハラ行為や暴力、威嚇、脅迫行為に対し、病院全体で対応している。

カスハラの現状と対策

カスタマーハラスメントとは、カスタマー（顧客）による理不尽なクレーム、不当な要求、従業員に対する嫌がらせなどの迷惑行為のこと。

モンスター・ペイシエントとは、医療従事者や医療機関に対して理不尽なクレームや要望、暴言、暴力行為などを行う患者やその家族のこと。



防犯カメラの設置が望まれる窓口

問 全国では特定の職員の氏名を語ってSNSに他人の誹謗中傷が書き込まれるなどの事例があり、名札の表記を名字のみに変える対応をしている自治体もあるが。

答 名字のみの表記について前向きに検討する。

問 防犯カメラの設置状況は。

答 市役所内には12台設置しているが、窓口への設置はない。市立病院では患者さんの転倒等のリスク回避や防犯の観点から28台設置している。

意 事件や事故が起きる前に対応を行い、働きやすい職場に。

地方農業政策の妥当性



そうせいこばやし
創生こばやし
まいた しげはる
舞田 重治 議員



コ
詳
チ
ラ
ク
は

農畜産業の実態と課題

問 農家の経営実態は。

答 不安定な世界情勢により資材等が高騰し、生産費の上昇が経営を圧迫している。食料の安定供給の確保、農業の持続的な発展が課題であり、これまでの経営所得安定対策をはじめ、農業後継者や新規就農者支援を継続するとともに、小規模農家など多様な担い手の育成や農家所得の向上についても対策を講じていきたい。

問 生産性向上対策は。

答 畜産においてはスマート農業研究会を立ち上げ、ICT技術を活用した生産性向上につなげようと動いている。また農地を多面的機能支払交付金事業の活用により、地域の担い手に農地を集約・集積



さらなる生産性向上対策を

し、耕作放棄地の減少と作業の効率化を図って生産性の向上を目指していきたいと考えている。

問 生産性の向上には投資が必要。現場を知ってもらわないと農業をする人がいなくなる。国県にもっと現場の実情を訴えるべき。

答 国に対して、農業政策について県と一緒にお願いしているところである。

意 担い手支援につながる農業次世代人材投資資金は市長の裁量も認められている。この投資資金で農家が生まれれば小林市の財産となる。ぜひ活用してもらいたい。

災害への備えはいかに

地域防災計画の概要

問 計画策定の経緯と構成内容は。

答 平成29年度に東日本大震災の教訓や「南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」の制定を受け、全面的な見直しと、国の防災基本計画、県の地域防災計画の内容変更に基づく修正を行い、現在の計画となった。第1編が総則、第2編以降は災害の種類の構成となっている。

問 災害発生時の対応と流れは「調査と分析」「緊急時対応体制の整備」「防災訓練の実施」「防災施設の整備」「情報発信と啓発活動」「災害時の対応と復旧」と考えるが。

答 計画の共通対策から考えるとこの対応と流れになる。



りつじんかすらぎ
立新会
まつみね ゆういち
松嶺 勇一 議員



コ
詳
チ
ラ
ク
は



防災に関するパンフレット

紙屋地区の停電

問 紙屋地区の送配電の状況は。

答 本市の送配電は都城または宮崎配電事業所のエリアで、紙屋地区は宮崎配電事業所のエリアとなっている。

問 宮崎市内から順に復旧されるため、紙屋地区の停電が長引く状況にある。指定公共機関（九州電力）に対し、送電経路の変更を働きかけてもらいたい。

答 命に直結する問題は早急に取り組むべき課題であると考えられることから、努めていきたい。

人口減少と学校の今後



きたやましげのり
北霧島政新会
の だ としのり
野田 利典 議員



コ
詳
チ
ラ
ク
は

人口減少対策

問 これまでの取組と今後の対策は。

答 2014年に消滅可能性都市リストが発表されて10年が経ち、令和6年4月に人口戦略会議が新たに地方自治体の持続可能性について分析を行い、その結果を発表した。本市は平成27年度に、てなんど小林総合戦略を策定し、人口減少対策に取り組んできた。今回は消滅可能性自治体からは脱却したが、人口減少は着実に進んでおり、これまでに以上に社会活動や地域経済に与える影響は大きくなると考えている。これまでの施策の検証を進め、現状の人口減少に対応した取組も必要と考えている。



学校教育の在り方

これからの学校の在り方

問 児童生徒数の減少や学校施設の老朽化等を踏まえ、今後の統廃合については、どう考えるか。

答 今年度立ち上げる小林市教育みらい検討委員会で学校の教育環境に加え、地域コミュニティとの関わりや施設の老朽化などを含め、総合的な提言をもらう予定。それを踏まえ、広く意見を聞き検討していきたい。

高齢者の緊急時に活用

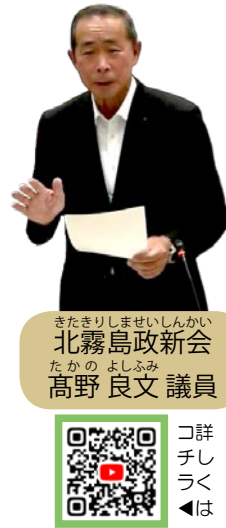
高齢者の現状と対策

問 ひとり暮らしの高齢者の実態は。

答 本市の高齢者単身世帯数は令和2年の統計で3494世帯で、年々増加している状況である。今後高齢者の約4人に1人が単身世帯になる見込みであり、実態の把握と見守り等の対応が必要と考えている。

問 孤独死の現状は。

答 孤独死として取り扱われる正確な件数は把握できないが、自宅で亡くなられて一定期間放置されているケースはあると聞いている。対策として、在宅高齢者の実態把握を行う訪問調査事業の実施や見守りの必要な高齢者等に対し、緊急通報システムの貸出し、高齢者等訪問給食サービス



小野湖利用で活性化を



須木地区の振興

問 須木地区においては、カヌー競技への期待が高まっている。小野湖を視察された日本カヌー連盟の評価は。

答 水面が安定しており横風が吹きにくい構造で、カヌー競技場にふさわしいとの評価だった。今後も県カヌー協会と協議・調整を行いながら、計画的に競技会場の整備を進めていただきたいとの意見をいただいた。

問 整備計画に係る財源の確保は。

答 基本的には県の補助金の活用を考えている。

問 財源確保のため、企業に対して指定寄附などを発信しては。

答 企業版ふるさと納税の周知については、市長のトップ



カヌー競技に最適な小野湖会場

ジビエの利用拡大は

問 学校給食でのジビエ（シカ肉など）活用の考えは。

答 県内も含めて全国的には一部の学校で提供が始まっていると認識している。地産地消、食育の観点からも有意義な取組と考えており、夏休みを利用して調査研究を行う予定である。食材の調達やアレルギー対応など細かく検討していく必要があると考えている。



緊急通報システムで安心な生活を

入事業を活用した見守り等を行っている。

問 緊急通報システム事業はいつから始まったのか。また機器の貸与数と効果は。

答 平成4年に開始して、令和6年3月末で、106台貸与している。利用者がボタンを押すと、24時間体制でオペレーターが対応し、相談を受けている。また、緊急時には消防署や家族等に連絡をつなぐなど迅速な対応と日常生活の安心につながっているものと考えている。

教育長の今後の方針は

答 子どもたちに「夢」や「希望」を持って、たくましく生きていく力を身につけさせたいと思っている。高度情報化や多様化、少子化などの課題に対応した新しい時代を見据えた教育を行うことが使命だと考えている。

問 まちづくり協議会と学校との連携の今後の展開は。

答 細野小学校の空き教室にまち協事務局を移転したことは、学校と地域の連携が新たな一歩を踏み出したと実感した。学校と地域が子育ての目標を共有し、役割分担を理解した上で取り組むことが大切であり、教職員と地域の方々が、日頃から顔を合わせ、意見などを共有する機会が必要である。この取組を校長会等で説明し、関係課等との連携



人口の減少と地域自治

教育行政の展望

問 少子化・人口減少により、学校統廃合も視野に入れた協議が進められようとしている。新たに就任した教育長に市の教育行政の未来のビジョンを問う。

答 子どもたちの幸せを第一に考え教育環境を整えることが重要で、自分の夢や希望の実現に向けてたくましく生きていくための力を育む場が学校と考えている。しかし、学校の小規模化や施設の老朽化などが進む状況では、いづれ子どもたちに必要な力を育むことが困難になることが予測される。本年度立ち上げる検討委員会の提言を踏まえ、本市の学校の姿について検討していく。



地域で支える岩戸神社の岩戸神楽

地域コミュニティ

問 地域の課題解決につなげるべく協働のまちづくりを推進するため、今後の支援体制をどのように考えているのか。

答 各まちづくり協議会で地域独自の活動を推進している。引き続き、活動の連携強化や情報共有を図りながら、地域に根差した活動ができるよう、県や関係機関と連携し、取組を支援していく。



細野小内の細野まちづくり協議会

地域猫活動

問 他自治体で、地域猫活動の財源にふるさと納税を充当している事例をご存じか。

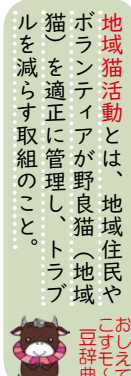
答 5自治体の事例は承知。

問 市長、本市でふるさと納税を充当する考えは。

答 今のところ予定はない。

問 新たな支援策や事業の展開を進めていく考えは。

答 動物愛護団体等との連携、情報共有が重要と考える。また県との連携や各種団体との役割分担など、今後研究したい。



6月6日

三松小学校6年生

6年1組
感想文→



6年2組
感想文→



6月17日

永久津小学校6年生

6年1組
感想文→



3年1組
←感想文

6月27日

紙屋小学校3年生



6年1組
感想文→



6年2組
感想文→



6年3組
感想文→



6月10日

西小林小学校6年生

6年1組
感想文→



6月14日

南小学校6年生

6年1組
感想文→



6年2組
←感想文



5月30日

小林小学校6年生

議場見学・議会傍聴

市内小学校から多くの皆さんが議場見学・議会傍聴に来てくれました。
子どもたちが書いた感想文をQRコードから読むことができます。

小林市議会における

タブレット活用について



そもそも・・・

タブレットってなに？
タブレット（端末）とは、画面にタッチして感覚的に操作できる、スマホとパソコンの中間のような端末のこと。

タブレットを使うメリットは？

持ち運びがしやすく、どこでも必要な情報や資料を見ることができる。

資料は全て
タブレット一つに！



たとえば・・・



こんな時にタブレットを活用しています！

①本会議・委員会中の
会議資料閲覧
(サイドブックス)

②情報連絡・情報共有
(ワウトーク)

③スケジュール管理
(グーグルカレンダー)



定例会の日程や閉会中の各委員会の調査活動、
地域や各種団体の会議・行事参加などを全て管理

災害時、現場情報の共有も迅速に行えます！

議員からはこんな声がありました！

タブレットになり情報共有、スケジュール管理、資料閲覧、議員間の連絡も便利、
外出先での資料提示や災害対応も迅速となった。データ検索、ペーパーレス効果
も高く、一般質問や議案質疑などの活用にも役立っている。 [このほかの意見はこちら→](#)





昭和 42 年の卒園写真
(取材した松嶺議員の卒園年)



閉園前の野尻幼稚園園舎

野尻幼稚園は昭和32年(1957年)、尼子ソノ氏が物質不足のなかで光蓮寺本堂横に託児所兼保育所を開いたことに始まり、その後、息子の尼子覚了氏が昭和43年(1968年)に認可された学校法人ひかり学園で日曜学校などとして開設されました。

ひかり学園は、昭和48年(1973年)に旧野尻町から町立幼稚園設立の意向を受け発展的に解散した後、町立幼稚園として移管され、平成6年に現在地に新築移転されました。これまでの卒園生は1427人。多くの子供が楽しい時間を過ごしたことでしょ

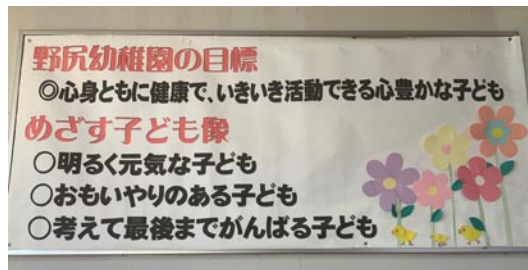


野尻幼稚園
閉園式の様子

語り継ぐ小林の歴史 シリーズ③ 最後の公立幼稚園 野尻幼稚園

去る令和6年3月26日、野尻幼稚園が閉園しました。

野尻の子供たちを愛した尼子氏は、高度成長期の昭和30年代から50年代の環境の変化への対応と主体性の育成を幼児教育の重要な課題として取り組まれました。野尻幼稚園は、その礎の上に成り立つた感謝したい。五代目住職の尼子正寛氏も先祖の功績を振り返り、感謝とこれからも子供たちを見守り続けたいと願っています。



野尻幼稚園の目標



光蓮寺住職への
インタビュー



野尻町史余話
(抜粋：尼子覚了氏)

(参考文献：野尻町史・野尻町史余話 野尻人物列傳
取材・編集：松嶺 勇一／金松 勲)

○議会への提言・疑問・質問などお寄せください。

○今回の「はなみずき」で関心のあることや感想があればお書きください。また、もっと読みたくなるような「アイデア」があればお寄せください。

政務活動費の実績を報告します

「政務活動費」とは、議会議員の調査研究等の活動に必要な経費のことです。

例えば、ほかの自治体の先進的な取組を現地に行き詳しく聞いて、小林市にも生かさないか研究したり、市民の声を聞くためのアンケートや会議を開いたり、必要な知識を得るための本の購入などに使われています。

小林市議会では、条例に基づき「政務活動費」を各会派に交付しています。

交付目的：議会議員の調査研究その他の活動に資するための経費として交付

交付額：1人当たり 月額1万5千円(年額18万円)

令和5年度政務活動費の実績報告

(単位：円)

科目	会派名							総計
	立新会	創生 こばやし	日本共産党	北霧島 政新会	新生会	立憲民主党	公明党	
	貴嶋 憲太郎 押領司 剛 有木 将吾 松嶺 勇一 小川 真 堀 研二郎	原 勝信 永野 雅己 吉藤 洋子 舞田 重治 金松 勲	大迫 みどり 橋本 律子	高野 良文 野田 利典	能勢 誠 前田 隆博 ※R5.12.13結成	竹内 龍一郎	鎌田 豊数	
政務活動費 交付金(A)	1,230,000	825,000	330,000	330,000	90,000	165,000	165,000	3,135,000 (※1)
調査研究費	436,292	66,427	54,000	164,740			149,585	871,044
研修費	677,020	757,290		20,905	90,000			1,545,215
広報費			93,483			69,080		162,563
広聴費			3,331			110		3,441
要望・陳情 活動費								0
会議費								0
資料作成費				970		6,669		7,639
資料購入費	13,310		122,260	14,993		86,038	4,370	240,971
人件費								0
事務所費								0
支出実績額	1,126,622	823,717	273,074	201,608	90,000	161,897	153,955	2,830,873
交付確定額 (B)	1,126,622	823,717	273,074	201,608	90,000	161,897	153,955	2,830,873
返還額 (A-B)	103,378	1,283	56,926	128,392	0	3,103	11,045	304,127 (※2)
執行率(%) (B/A)	91.60	99.84	82.75	61.09	100.00	98.12	93.31	90.30

(※1) 令和5年度は改選により5月から支給しています。 (※2) 残余金はすべて市に返還済みです。

使途の透明性

使い方については、使途基準や留意事項などを細かく決めて支出しています。
また、収支報告書には全ての領収書を添付して、5年間保管しています。
詳細は右のQRコードから、小林市議会「政務活動費」のページをご覧ください。





堀 研二朗 議員の
イチオシ!!



はなみずきが届くまで

今回は議会だより『はなみずき』が皆さんのもとに届くまでを簡単に紹介します。

小林市議会では年4回（5月・8月・11月・2月）に議会だよりを発行しています。議会だよりには議会に提案された議案がどのように審議されたか、市政がどのように進んでいくかといった情報がたくさん詰まっています！

私たち広報広聴委員会の委員は、定例会前から掲載する内容を担当ごとに検討し、取材等を行っています。

そして、市民の皆さんにより分かりやすく伝えられるよう、読者モニターの皆さんの意見も参考にしながら記事にまとめ、定例会終了後およそ2週間で完成させます。

完成した議会だよりは、シルバー人材センターの皆さんに仕分け作業をしていただいて、各区長、常会を通じて皆さんの元に届きます。

多くの時間と多くの方々が関わって届けられる議会だより『はなみずき』をどうかよろしくお願いします。仕分けの様子観てね♪



仕分け作業をしていた
だくシルバー人材セン
ターの皆さん▶

仕分けの様子▶



◆次の9月定例会（予定）は

開会日・・・9月2日（月）
一般質問・・・9月4日（水）、5日（木）、
6日（金）、9日（月）
議案質疑・・・9月11日（水）、12日（木）
閉会日・・・10月1日（火）
◎突発的な事情等により変更となる場合があります。

議会
中継

◎定例会の「本会議」はライブ配信しています。インターネット検索またはQRコードからアクセスしてご覧ください。

小林市議会 動画配信

検索



編集後記

議場見学に多くの小学生が訪れました。大いに議会に親しみを持ってもらいたいです。

毎回議会の活動を市民の皆さまにどうわかりやすく伝えるか、委員で知恵を絞っています。

取材に協力してくださる方、はなみずきを配布してくださる方々、多くの皆さまに感謝し、今後も「思わず読んでみたくなる」広報紙づくりに尽力してまいります。

鎌田 豊数

----- 切り取ってお出してください -----

料金受取人払



差出有効期間
令和7年7月24日まで
(切手を貼らずにお出ください)

郵便はがき

886-8790

（受取人）

小林市細野300番地

小林市役所 議会事務局

広報広聴委員会 行

（はなみずきNo. 69 2024.6月議会号）



ふりがな

ご氏名（イニシャルまたはペンネームでも可）

□□□-□□□□

ご住所

お電話 （ ）-（ ）-（ ）